

高田廣君の轉任を惜しむ

K

生

秋田縣の知事さんが立派な自動車を持ちながら何故か船川港の修築工事を視察するのに三等のゴトゴト汽車にばかり乗つて行つた。

自動車が如何に立派であつても汽車が三等のむさ苦しいものばかりであつても道路が全然利用出来ない状態であつては寔に致仕方がない。

それ程秋田縣の道路は國道と謂はず府縣道と謂はず全く道路としての存在價值を失つた悪道路のみであつた。それが高田君が土木課長として赴任するに及んで日本一の悪道路が近々三四年の間に日本一の良道に全く面目を一新せやうなどは全く夢のやうな出来事であつた。

然しこれは全く高田君の血の出るやうな道路愛護の熱血

の賜であつたのである。

知事さんを始め縣の當局者は勿論縣民一般も秋田縣の道路の悪いことにはとづくに諦めをつけて全くサジを投げて居つた状態であつたのであるが、高田君の熱意が段々と其の効果を現はして來るや縣民一同の慶びは非常なもので、昨年より始めた道路愛護運動に對する縣民の協力振りが強くな々之を證明してゐる。

今度高田君は望まれて京濱新興都市の川崎市に土木課長として此の思出の深い秋田縣を去ることになつた。

高田君は昭和十年四月長野縣河川課長より秋田縣土木課長に轉じて滿三年六ヶ月の在任である、福岡縣三潁郡の人熊本高工出身内務省下關土木出張所に入り後東京土木出張

所に轉じ、江戸川や中川の改修工事に従事し、更に埼玉縣技師となつて厄介な福川及小山川改修工事を成功せしめ、昭和七年岐阜縣に轉じて、之亦中々面倒な木曾川支派川改修工事に主任技師を立派に勤めて、長野縣河川課長に榮轉したのであつた。



右のやうに主として河川工事に携はつて居た同君が秋田縣に於て斯くの如く道路行政を立派にやつてのけやうとは失禮ではあるが、誰も全く豫想して居な

かつたのである。しかるにこの鮮かなる手際は全く君の外柔内剛の熱意の結晶に因るものである。兎角の問題を惹起して傷ける歴代土木課長等の後を承け綱紀の肅正を心構へとなし、着任早々東北振興道路の全面的改修を企圖し、未完成のまゝにあつた船川港の修築整備、金浦漁港の擴築、

平澤漁港の後始末、觀光ホテルの建設問題を解決し更に進んで秋田運河の開鑿、雄物新橋の架設に全幅の力を致し各種大工場を誘致するなど秋田縣土木產業界に一大貢獻をなしたのである。更に今後の大事業として茨島、土崎港一帯の工業用水計畫、本莊港の修築、秋田飛行場、雄物川其の他河川の治水計畫等の實現に當り、君の手腕に俟つべきものが多々ある際として其の轉出は痛く各方面より惜まれてゐる。

然し君の行く新興都市川崎市の事業も亦時局に際し、大いに君の活躍に期待すべきものがあるので、折角其の奮闘を祈つて止まない次第である。

君は常に「秋田縣では歴代の土木課長がいやな問題ばかりで皆傷ついてゐる自身だけは其の轍を履みたくない」と語つて居つた。

前車の轍を履まなかつたのみか、かく數々の事業をやつてのけた近代稀に見る名課長の高田君に心から御祝の辭を呈した。